

THE RACING PIGEON

8

2019 AUGUST

Vol. 725

レース鳩



令和元年度 協会タイトル特集 第一弾!

会長賞

アジア鳩協聯盟会長賞

オランダ伝書鳩協会会長賞



19年春千葉南連盟桜花賞62羽中総合優勝

(実距離 1026.841 K / 分速 1107.983m)

“令和レオ号”

18LS01085 S ♂ 鈿持純一鳩舎作翔(千葉南・木更津連合会)

* 19年春東日本CH総合106位・C地区19位 千葉ブロック連盟GP連盟37位

19年春千葉南連盟桜花賞62羽中総合優勝
(実距離1026.841K/分速1107.983m)

“令和レオ号”

18LS01085 S ♂ 鈮持純一鳩舎作翔
* 19年春東日本CH総合106位・C地区19位
千葉ブロック連盟GP連盟37羽

- ▶ “ド・フェニックス752” 06LH02752 RC
- ▶ “ド・フェニックス” DV02709-99-410 BC
01年バルセロナIN優勝・IN2位
▶ DV0355-97-587 全兄弟/01年マルセイユN優勝
マテルネ作×ワールドCH“127”の母(ヤンセン系)
▶ DV02772-97-693
(アイヤークン作×ヘルムス作)×
ダックスIN2位の全姉妹(アールデン×ミュレマンズ)
- ▶ “ソフィア”
NL98-1102638 RC ルーク・ガティーン作翔
02年バルセロナIN優勝
父/ファンデウェーゲン系×カイパー兄弟系
- ▶ 16LH02273 BC 鈮持純一作
- ▶ “ゲーイエ24”
NL11-1998824 BC マチュー・ヘンドリック作翔
サンバンサンN9,757羽中7位、10,123羽中515位
タルブN8,707羽中61位他ダックス入賞
▶ NL06-1370494 BC M.ヘンドリックス作
97年バルセロナIN優勝“アーノルド”の孫×
(96年バルセロナIN優勝“ゲルダ”の弟×
上記“アーノルド”半姉妹)
- ▶ NL05-1707092 BCW M.ヘンドリックス作
サンバンサンN8位(ヨス・トーネ系)×全姉
- ▶ 06KA01047 BC 田中一郎作
ファンデンブローク系×
“ジジ”(89年KBDB長距離Nエースビジョン賞1位)重近親

～獅子の如き強さをここに再現！～
★鈮持純一鳩舎 19年の成績★

| レース名 | 距離 | 参加羽数 | 成績 |
|--------------|-------|---------|-----------------------------|
| 千葉南連盟 Rg | 533K | 587羽中 | 総合優勝、11位、13位 *上位鳩、感知漏れあり |
| 千葉南連盟 地区N | 630K | 348羽中 | 総合優勝、5位、9位 |
| 千葉 ブロック連盟 GP | 806K | 4,745羽中 | 総合12位、52位、59位 |
| | | 連盟238羽中 | 優勝、3位、4位 |
| 千葉南連盟 桜花賞 | 1026K | 62羽中 | 総合優勝、2位、3位、 4位、7位、8位 |



獅子奮迅の活躍再び——!

グラントドスラム堂々達成!

脅威の獅子こと鈮持純一鳩舎(木更津)がメジャー4レース全て連盟制覇!

獅子ここに完全覚醒——

再開2年目の06年に中距離の華・地区Nを制覇。09年には連盟レースでRg、地区N、桜花賞、ジャパンカップの4レースで勝ち星を挙げた上、「日本優秀鳩舎賞」を全国6番目の入賞率で受賞——と、千葉南連盟で最遠距離地帯に鳩舎を構えながら鈮持純一鳩舎(木更津)の強さは桁違いだ。とりわけ09年に見せた“獅子奮迅”の

活躍を受けて“脅威の獅子”として周囲から一目置かれた同鳩舎だが、その後も勝ち星を重ねていき、16年には700K、ジャパンカップ、GNの3レースで連盟優勝を達成。しかし前述の最高成績に匹敵する結果に届くことはなく、いつしか“脅威”から“眠れる獅子”となってしまった。
「実は12年からずっとバカが忙しくて鳩レースに時間を割くことができなかつた。しかし今年になってやっと鳩レースに集中できる環境が整いました。かつての管理“ができました”。

その結果、Rg、地区N、GP、桜花賞のメジャー4レースを全て連盟制覇! 国内最高賞を仕留めた“獅子の如き強さ”の再現へとつながる。そして——グラントドスラムという離れ業を演出したことにより、10年ぶりに“日本優秀鳩舎賞”への扉も開いた。ところが自動入舎機のトラブルで、Rgで果たされていた上位固め打ちがほとんど打刻されず……。あ

と一步のところまで授賞には届かなかった。これが決定打だっただけに
鈮持鳩舎が抱く“無念”の気持ちは大きい。
“幻の日本優秀鳩舎賞”となったとはいえ、トリガー次第で全国レベルの成績をあげることができるということを完全に証明した。そもそも鈮持鳩舎の所有する種鳩は、国内外で実績高き銘血ばかりである。今春の桜花賞総合優勝鳩“令和レオ号”だけみても父親がバルセロナIN優勝の“ソフィア”と同IN2位の“ド・フェニックス”の配合。母方は“ゲーイエ24”というヨス・トーネ系スーパーC H経由で“アーノルド”と“ゲルダ”のバルセロナIN優勝鳩2羽、他にはエティエネ&フランク・デヴォオスの下で“リバウド”(05年バルセロナ十ペルビニヤンINエースビジョン賞1位)や“ウィットベン・リバウド”(12年KBDB超長距離Nエースビジョン賞1位)を生み出した超銘鳩ケラエースビジョン賞1位)の最大元にあたるファンデンブロークの最高傑作“ジジ”のDNAが組み込まれている。
最高の血統とそれを引き出す最高の管理が可能とつた今、鈮持鳩舎は近いうちに国内最高賞という獲物を確実に仕留めるはずだ。
ここに“獅子覚醒”——!